

ヒヤリ・ハット報告書

氏名：

会社名：

いつ 年 月 日 (月) 時 分 頃

どこで？

既設アスファルト撤去現場で

だれが？

自分が

何をした？アスファルトがらを積込するときダンプのあおりを降ろさず
ブームが架空線に接触しそうになった

どういう問題があったか？

誘導員の配置は行ったが重機の旋回時に人との接触を注視していたため
本事案には関与していなかった
ダンプのあおりを降ろさなかったことも直接的な要因になる

環境 設備 作業方法

今後どうすれば回避できるか？

誘導員の他に架空線の監視を行うものも配置する
ダンプのあおりは確実に降ろす

心理分析

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. よく見えなかった | ② 気づかなかった |
| 3. 忘れていた | 4. 知らなかった |
| ⑤ 深く考えなかった | 6. 大丈夫と思った |
| 7. 無意識に手が動いた | 8. やりにくかった |
| 9. 体のバランスを崩した | 10. あわてていた |
| 11. 不愉快なことがあった | 12. 疲れていた |
| ③ その他 誰かが見ていると思った | |

上司のコメント

作業主任者は工程を管理するとともに各員の役割を定めること

対策 実施(要・否) 期限 年 月 日迄 チェック者

会社名		報告年月	年	月	日
-----	--	------	---	---	---

危険有害要因監査結果表

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、

第三者災害	です。
-------	-----

危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設定し、監視しました。

作業エリアの区画

監査結果

危険有害要因を

防止できました。

防止できませんでした。



防止できなかった場合

発生事例
どうすれば防止できたか
今度どのようにしますか

危険有害要因監査特定表

当月、当社で監視する危険有害要因は、以下の通りです。

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	作業員が車両と接触する	<ul style="list-style-type: none"> 適切な誘導合図の徹底 車両死角の把握 	過去同種災害より

ヒヤリ・ハット報告書

氏名：

会社名：

いつ 年 月 日 (月) 時 分 頃

どこで？

現場で

だれが？

職人が

何をした？

材料運搬時転倒しそうになった

どういう問題があったか？

足下に危険物があったことに気がつかなかった

環境 設備 作業方法

今後どうすれば回避できるか？

運搬通路等は必ず整理整頓する

心理分析

- | | |
|----------------|------------|
| 1. よく見えなかった | 2. 気づかなかった |
| 3. 忘れていた | 4. 知らなかった |
| 5. 深く考えなかった | 6. 大丈夫と思った |
| 7. 無意識に手が動いた | 8. やりにくかった |
| 9. 体のバランスを崩した | 10. あわてていた |
| 11. 不愉快なことがあった | 12. 疲れていた |
| 13. その他 | |

上司のコメント

足下が見えないと躓いて大きなけがにつながります
必ず“ながら”でやらずに確認して行いましょう

対策 実施(要・否) 期限 年 月 日迄 チェック者

会社名		報告年月	年	月	日
-----	--	------	---	---	---

危険有害要因監査結果表

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、

	です。
--	-----

危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設定し、監視しました。

--

監査結果

危険有害要因を 防止できました。

防止できませんでした。



防止できなかった場合

発生事例
どうすれば防止できたか
今度どのようにしますか

危険有害要因監査特定表

当月、当社で監視する危険有害要因は、以下の通りです。

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	ユンボ半径への立ち入りによる接触事故	作業半径への立入禁止柵を設ける	一番事故として多いため

ヒヤリ・ハット報告書

氏名：

会社名：

いつ 年 月 日 (月) 時 分 頃

どこで？

現場で

だれが？

作業員が

何をした？ 鉄筋の切断を行っていた際、鉄筋に切り込みを入れていた
サンダーがはねて手にあたりそうになった

どういう問題があったか？

危険な作業をしている自覚がなくサンダーを使用していた

環境 設備 作業方法

今後どうすれば回避できるか？

鉄筋を切断する際には鉄筋カッターを使用する

心理分析

- | | |
|----------------|------------|
| 1. よく見えなかった | 2. 気づかなかった |
| 3. 忘れていた | 4. 知らなかった |
| ⑤ 深く考えなかった | ⑥ 大丈夫と思った |
| 7. 無意識に手が動いた | 8. やりにくかった |
| 9. 体のバランスを崩した | 10. あわてていた |
| 11. 不愉快なことがあった | 12. 疲れていた |
| 13. その他 | |

上司のコメント

安易にサンダーを使用せずボルトクリッパーや鉄筋カッターを使用してください

対策 実施 (要 ・ 否) 期限 年 月 日迄 チェック者

会社名		報告年月	年	月	日
-----	--	------	---	---	---

危険有害要因監査結果表

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、

です。

危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設定し、監視しました。

手洗い・うがいの徹底、インフルエンザの予防接種へ助成金をだし推進する

監査結果

危険有害要因を

防止できました。

防止できませんでした。



防止できなかった場合

発生事例
どうすれば防止できたか
今度どのようにしますか

危険有害要因監査特定表

当月、当社で監視する危険有害要因は、以下の通りです。

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	前月に引き続きインフルエンザの予防	手洗い・うがいの徹底 予防接種へ助成金を 出し推進する	インフルエンザに かかりやすい時期のため